

事業実施期間令和6年度〈産地間連携等推進タイプ〉 全国農業協同組合連合会 福岡県本部（ＪＡ全農ふくれん）（福岡県）

令和6年度当初
農業労働力確保
支援事業

福岡県の農業では、担い手不足や高齢化による就業人口の減少は続いている。11月～5月の時期が人手不足が顕著で、野菜類・いちご・みかん・柿等の園芸作物を中心に選果作業・パック詰め、及び収穫作業での労働力不足の課題を抱えている。特に選果場・パックセンター等の農業関連施設の高齢化・労働力不足は深刻で、出荷先が機能しないと収穫作業出来ず労働力不足以前の問題となっている。現在、本会独自の取組みとして、パートナー企業3社による、農作業請負の労働力支援を実施しているがＪＡや生産者からの多様な要望に応えていくためには、新たな取り組みを取り入れていく必要が出てきている。そのため、本事業は既にＪＡ福岡中央会で県下ＪＡに紹介して普及しつつあるバイトアプリ（デイワーク）を活用した県内及び近県以外からの労働力確保の取組みを追加することで労働力支援の幅を広げ農業労働力支援を必要とする農家・農業法人の支援となることを目的として実施を開始した。

事業実施主体構成員

全国農業協同組合連合会 福岡県本部 営農開発部 営農総合課（ＪＡ全農ふくれん）

協力機関・連携先等

・ＪＡグループ福岡 県内20ＪＡ（福岡県） ・福岡県農業協同組合中央会（福岡県） ・ホクレン農業協同組合連合会（北海道）
・全国農業協同組合連合会 山形県本部（山形県）

設定した成果目標・目標に対する進捗状況

- ①他産地・他産業との連携による労働力確保：実績1名（目標11名）（R5年：実績25名）
- ②県下職業紹介事業＋デイワーク充足率（マッチング率）：実績91.4%（目標92.5%）（成立数6,325名÷募集数6,922名＝マッチング率91.4%）
- ③デイワーク利用生産者数：実績191名（R5年：実績104名）

令和6年度取組み内容

今年度の取組み内容

ア 労働力の需給状況の把握（地域の状況及び労働力提供可能な者の把握等）

ツアー参加者、受け入れ農家には、ツアー実施後にアンケート調査を実施。次年度以降に継続的に実施できるよう基礎データとして活用する。

イ 産地内での労働力確保・育成

本事業とは別に本会独自の取組みを実施

- ①パートナー企業3社(株)Newアグリ、(株)アグリパスサポート、ジャムセレクト(株)の農作業請負によるＪＡ支援人数（令和7年2月末時点 実績：19,103名）
- ②デイワークによる支援（連携団体のＪＡ福岡中央会及び県内ＪＡと連携）（令和6年12月時点 実績：6,325名）
- ③九経連・農林中金との三者連携協定による支援（令和7年2月時点 実績：ボランティア24名、研修25名、アルバイト・副業0名、産地間連携による支援1名）
※産地間連携による支援1名に関しては、九経連からの紹介により実施した。
- ④ＪＡ新おたる管内ミニトマト農家への産地間連携支援（令和7年2月時点 実績：3名）
- ⑤特定技能外国人による産地間連携（県補助事業外）
・ＪＡ新おたる管内との連携により、トライアルとして本会施設3センター（パックセンター）で特定技能外国人を受入れ（令和7年2月時点 実績：54名）
- ⑥北海道と連携した外国人材派遣支援事業による産地間連携（県補助事業）
・県内ＪＡ対象：1ＪＡ（2名）、最大7ＪＡまで。（令和7年2月時点 実績：2ＪＡ4名）

全国農業協同組合連合会 福岡県本部（ＪＡ全農ふくれん）

（福岡県）

今年度の取組み内容

ウ 他産地・他産業との連携による労働力確保

雇用のマッチングのため、「大都市圏（首都圏・関西圏）四国エリア」に対しては、本会より産地間連携の実績のある旅行会社（株式会社農協観光）との連携により、働き手を確保した。

<他産地・他産業と連携した労働力確保>

1月に四国エリア愛媛県からの労働力1名の受入れを実施。

12月専用チラシ等による支援者募集を実施。

（令和7年2月時点実績：求人数3件 応募数2件 成立数1件）

ア・募集する労働者の居住地（出発地）：関東圏・関西圏・四国エリア

イ・労働場所（目的地）：福岡県三潴郡大木町農家

ウ・宿泊場所：柳川ビジネスホテル

エ・募集条件：募集人員6名/労働内容：いちごの収穫・パック詰め・出荷作業・適宜作業/労働期間：5日間（雇用期間6日、移動日2日、休み：1日）
1日当たりの平均労働時間：8時間（別途休憩1時間）

エ 労働力等のマッチング及びデータベース化

プラットフォームとして活用したデイワークによるマッチングがＪＡグループ福岡で普及し始めている。未経験者を受け入れる素地づくりとして、短期労働者対策として活用していく。

（R6年12月時点 実績：求人数6,992件、応募数9,117件、成立数6,325件 マッチング率91.4%）

オ 農業の「働き方改革」への取組

未実施

本事業取組みにおける成果項目

他産地・他産業との連携による労働力確保

- ・農業ツアー1名の参加でいちごの収穫・パック詰め・適宜作業を実施。
- ・ツアー参加者は1名ではあったが、農家さんとの交流や農作業に対してやりがいを感じ高い満足度であった。
- ・受入れ支援農家さんからは、未経験者でも戦力になる流れをつくる良いきっかけになった。また、作業の雰囲気が変わり、作業を進めること以外でも効果があったと前向きな意見をいただいた。
- ・今回は、参加者が宿泊費、交通費（2次交通費含む）を負担。ツアー料金が高額になり、募集人数の低下にも繋がったのでツアー自走化に向けて見直しの必要性がある。

特定技能外国人による産地間連携（県補助なし）

- ・JA新おたるとの連携でトライアル事業の開催。（本会3センター54名の受入れ）
- ・本会3センターともいちごのパック詰め等、生産性の向上が見られた。

北海道と連携した外国人材派遣支援事業による産地間連携（県補助事業）

- ・2JA4名の受入れ（JAみなみ筑後、JA福岡大城各2名ずつ）
- ・2JAともいちごの収穫・適宜作業等、生産性の向上が見られた。

※特定技能外国人による産地間連携の2つの取組みは、本事業取組みにより派生し実施したものである。。

次年度以降の取組み内容

他産地・他産業との連携による労働力確保

- ・他産地間連携実施主体との連携強化を行い、福岡農業ツアー等の自走化に向けた取組みを検討する。
- ・学生ボランティア、サークルなど大学との連携を検討する。

外国人材の活用に向けた取組み

- ・JA新おたるとの連携。（県補助なし）
- ・北海道と連携した外国人材派遣支援事業による産地間連携（県補助事業）

県内JAのデイワークの普及拡大

- ・デイワーク利用の生産者拡大のための各JA労働力支援会議等での研修会を開催（JAグループ福岡、福岡県農業協同組合中央会との連携）



全国農業協同組合連合会福岡県本部（JA全農ふくれん）（福岡県）

福岡県の農業では、担い手不足や高齢化による就業人口の減少は続いている。11月～5月の時期が人手不足が顕著で、野菜類・いちご・みかん・柿等の園芸作物を中心に選果作業・パック詰め、及び収穫作業での労働力不足の課題を抱えている。特に選果場・パックセンター等の農業関連施設の高齢化・労働力不足は深刻で、出荷先が機能しないと収穫作業出来ず労働力不足以前の問題となっている。現在、本会独自の取組みとして、菜果野アグリによる、農作業請負の労働力支援を実施しているがJAや生産者からの多様な要望に応えていくためには、新たな取り組みを取り入れていく必要が出てきている。そのため、本事業は既にJA福岡中央会で県下JAに紹介して普及しつつあるバイトアプリ（デイワーク）を活用した県内及び近県以外からの労働力確保の取組みをメニューに追加することで労働力支援の幅が広げ農業労働力支援を必要とする農家・農業法人の支援となることを目的として実施した。

事業実施主体構成員

【事業実施主体】全国農業協同組合連合会 福岡県本部（福岡県） 営農開発部 営農・事業開発課（JA全農ふくれん）
【連携団体】JAグループ福岡 各JA（福岡県）・福岡県農業協同組合中央会（福岡県）・ホクレン農業協同組合連合会（北海道）・全国農業協同組合連合会 山形県本部（山形県）

実績値（目標値）

- ①他産地・他産業との連携による労働力確保：25名（36名）
- ②県下職業紹介事業+デイワーク充足率（マッチング率）：92.4%（90%）
- ③デイワーク利用生産者数：104名（70名）

令和5年度取組み内容

今年度の取組み内容
ア 労働力の需給状況の把握（地域の状況及び労働力提供可能な者の把握等） ・JA福岡中央会が実施した農業労働力に関する調査結果等を基礎資料とし活用 ・ツアー受入農家には、ツアー実施前後にてアンケート調査を実施し基礎データとして活用（別紙参照）
イ 産地内での労働力確保・育成 本事業とは別に本会独自の取組みを実施 ・パートナー連携企業の菜果野アグリ of 農作業請負による支援（令和6年2月時点実績 6,968名） ・デイワークによる支援（連携団体のJA福岡中央会及び県内JAと連携）（令和6年1月時点実績 3,553名） ・九経連・農林中金との三者連携協定による支援（令和6年2月時点実績 ボランティア19名/研修42名/アルバイト・副業12名/産地間連携による支援10名/その他9名） ・JA新おたる管内ミニトマト農家への支援（令和6年2月時点実績 10名） ・特定技能外国人による産地間連携。JA新おたる管内との連携により実施。トライアルとして本会施設（選果・パックセンター）で実施。（令和6年2月時点実績 40名）

今年度の取組み内容

ウ 他産地・他産業との連携による労働力確保

雇用のマッチングのため、本会より北海道・山形県のＪＡグループへの協力要請により働き手を確保、「大都市圏（首都圏・関西圏）」に対しては、産地間連携の実績のある旅行会社（株式会社農協観光）」との連携により、働き手を確保した。

<他産地と連携した労働力確保>

***の収穫時期（11月）に他産地北海道・山形県と連携し、繁忙閑散期の異なるエリアからの労働力10名の受入れを実施。

・8月から専用ＨＰ「福岡農業ツアー」を開設。合わせて、ＳＮＳによる告知等を実施。

（令和6年2月時点実績：求人数16件 応募数68件 成立数15件）

ア 募集する労働者の居住地（出発地）：北海道・山形県

イ 労働場所（目的地）：福岡県うきは市・八女市・みやま市及びその周辺農家

ウ 宿泊場所：ＡＺホテル（福岡甘木インター・福岡うきは・福岡八女）・ホテルルートイン柳川駅前

エ 募集条件：募集人員12名/労働内容：柿・みかんの収穫・選果・パック詰作業/労働期間：6日間（雇用期間7日、移動日2日、休み：1日）1日当たりの平均労働時間：8時間（別途休憩1時間）

<他産業と連携した労働力確保>

***の収穫前時期及び収穫時期（9月～1月）に人口が集積しているエリアからの労働力15名の受入れを実施。

・9月から専用チラシ等による、連携団体（ＪＡ新おたる・ホクレン・全農山形県本部）での支援者募集を実施。

（令和6年2月時点実績：求人数10件 応募数17件 成立数10件）

ア 募集する労働者の居住地（出発地）：関東圏・関西圏

イ 労働場所（目的地）：福岡県久留米市・三潞郡大木町及びその周辺農家

ウ 宿泊場所：久留米ワシントンホテルプラザ・ホテルルートイン柳川駅前

エ 募集条件：募集人員16名/労働内容：苺等の定植・マイカ線張・ビニール張・葉かき・収穫作業/労働期間：6日間（雇用期間7日、移動日2日、休み：1日）1日当たりの平均労働時間：8時間（別途休憩1時間）

エ 労働力等のマッチング及びデータベース化

・プラットフォームとして活用したデイワークによるマッチングがＪＡグループ福岡で普及し始めている。未経験者を受け入れる素地づくりとして、短期労働者対策として活用していく。

（Ｒ５実績（1月時点）：求人数3,842件、応募数5,302件、成立数3,553件 マッチング率92%）

オ 農業の「働き方改革」への取組

・農家への指導的立場にある、ＪＡ担当者（農業労働力支援）向けに、短期雇用に関する研修を実施。県内労働力支援は農作業請負型が主流であったため直接雇用に対しての備えが不十分であった。今までもこのような研修はしておらず、農家を指導する立場のＪＡ職員への研修は必要と考え実施した。

ア 法務実務 イ 社会保険 ウ 労務管理を中心とした研修会を本事業を活用し実施。

令和6年1月30日 13:30～16:30 THE LIVERY福岡・博多

ＪＡ福岡中央会と共催にて実施。 講師：すずき労務経営コンサルティング 社会保険労務士・中小企業診断士・行政書士 鈴木 大輔氏

本事業取組みにおける成果項目

・いちごの収穫前作業（ビニール張・マイカ線張等）での未経験者の受け入れには当初消極的であったが、受け入れてみると未経験者でも戦力になることが分かった。（農家より）

・JA新おたるとの連携による、特定技能外国人による産地間連携事業のトライアルの開催（40名の受け入れ）。この取り組みを継続させていくための事業が新設。



福岡県令和6年度当初予算（農林水産部 R6年2月15日HPにて発表）にて特定技能外国人受け入れに伴う補助事業が新規で設定。

○新 北海道と連携した外国人材派遣の支援[当初:11,301 千円]

① 外国人材の派遣体制構築支援

- ・本県で、外国人材の派遣体制を構築するため、北海道のJAとの調整や県内受入地域での住宅確保等を支援

② 農業者向け外国人材雇用研修会の開催

- ・労務管理など外国人材の雇用に必要な知識を身につける研修会を開催

次年度以降の取組み内容

- ・他産地間連携実施主体との連携強化を行い、横展開に繋がるような検討を行う。
- ・九州・山陽・四国エリアとの連携のための調査を実施する。
- ・福岡農業ツアーの継続。参加者が交通費・宿泊費を負担する取り組みにシフトして継続する
- ・学生ボランティアサークルなど学校との連携を検討する。
- ・農協観光の援農隊との連携の検討
- ・JTBのアグリワーケーションとの連携の検討
- ・おてつたびとの連携検討
- ・菜果野アグリ・ジャムセレクトによる農作業請負でのスキーム検討と農業支援ツアーの造成検討（農協観光・JTBなど旅行会社との連携）
- ・デイワーク利用の生産者拡大のための研修会等を開催（JAグループ福岡と連携）

募集チラシ・広告宣伝(イメージ)

☆基本的にWEBでのPRを主体とする

【主な掲載予定箇所】

- * 専用WEBページ（本企画専用）
- * X(Twitter) ・ Facebook
- * ジョイントリーGREEN
- * 本会HP
- * 農協観光HP
- * その他（協力頂ける北海道・山形県等のJAグループHP・SNS等）

9月・10月

いちご農家に 11名の支援を実施済み

11月

みかん農家・柿農家に 10名の支援を実施済み

1月

いちご農家に 4名の支援を実施予定

◎ 福岡 日 2023年9月19日（火）～ 2023年10月23日（月）

いいね！ 398

緊急募集【羽田/伊丹空港発着】福岡農業ツアー いちごの定植アルバイト 9日間

現地決済



福岡県久留米市でいちごの定植アルバイト9日間
（アルバイト6日間・休日1日間・移動2日間）の参加を
緊急募集中です。

羽田/伊丹空港⇄福岡空港往復航空運賃＋現地ホテル代
8泊＋現地ホテル⇄農場の送迎代6往復
⇒なんと旅行代金19,800円！！

しかもアルバイト代支給！

Aコース 2023年9月19日（火）～9月27日（水）

Bコース 2023年9月27日（水）～10月5日（木）

Cコース 2023年10月15日（日）～10月23日（月）

観光農園でのお仕事です。

ジョイントリーGREEN掲載中募集記事
<http://green.jointly.hyakuren.org/>

R5年実績

北海道・山形県・大都市圏から福岡県に合計25名の方に支援を頂いた

地区	時期	品目	作業	人数	出身地
久留米市内 (農業法人)	9月・10月・1月	いちご	定植・葉かき・たま 出しなど	9人	関東・関西・東北
大木町及び周辺 の農家	10月	いちご	収穫前作業 (展張など)	6人	関東・関西
JAふくおか八女 管内 みかん農家	11月	みかん	収穫	2人	山形
JAみなみ筑後 管内 みかん農家	11月	みかん	収穫	2人	北海道
JAにじ管内 柿農家	11月	柿	収穫	6人	北海道・山形

【参考 R4年度・R5年度 送出し支援実績】

令和4年実績 福岡県から北海道へ20人・山形県へ37人の方を送り出し支援を行った。

令和5年実績 福岡県から北海道へ10人の方を送出し支援を行った。

支援先	支援時期	品目	作業内容	人数	送出県
北海道 仁木町	R4年 8・9月	ミニトマト	収穫	45人	福岡県20人 大分県25人
北海道 仁木町	R5年 8・9月	ミニトマト	収穫	10人	福岡県10人
山形県	R4年 6月	さくらんぼ	収穫	40人	福岡県32人 大分県8人
山形県	R4年 10月	ラフランス	収穫	10人	福岡県5人 大分県5人

■ 令和6年1月15日 全農ウィークリー(転記)

農業労働力確保支援事業を使った産地間連携・異業種連携

県本部では、農水省が行う23年度の農業労働力確保支援事業の実施主体となり、産地間・異業種連携の取り組みを(株)農協観光とともに「福岡農業ツアー」として実施しました。

昨年度、福岡県と大分県より労働力を支援した山形県と北海道から、11月に県内の柿農家に6人、ミカン農家に4人の労働力を支援していただき、福岡県と北海道・山形県の産地間連携ローテーションが実現しました。

また、大都市圏に住む農業に興味・関心の高い層を対象に、ウェブやSNSなどで農作業参加者を募集する異業種連携にも取り組み、10～1月イチゴ農家・農業法人で合計15人が収穫前作業や定植作業などに参加しました。

参加者は交通費や宿泊費が補助されるため、少ない負担でツアーに参加できます。さらに農家側は未経験者を受け入れることへの抵抗感が薄れたという声が聞かれ、今後未経験者を受け入れる素地づくりの一助になったと考えています。継続のためには旅費補助などの課題が残りますが、今後は行政などと連携して課題解決に取り組むことを検討しています。

「福岡農業ツアー」のチラシ



みかん収穫作業



イチゴの収穫前作業(1)



イチゴの収穫前作業(2)